

福島工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	廃炉と社会
------------	------	----------------	------	-------

科目基礎情報

科目番号	0035	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	化学・バイオ工学科	対象学年	3
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	配布資料		
担当教員	鈴木 茂和		

到達目標

①原子力発電について説明できる。②放射線が人体に与える影響について説明できる。③放射性廃棄物処理処分について説明できる。

ループブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	福島第一原子力発電所の廃炉に向けて社会的側面も含めて必要とされる基礎知識を修得する。また、廃炉に関連する放射線や中間貯蔵施設についても考える。
授業の進め方・方法	レポートや小テスト等を総合的に評価し、60点以上を合格とする。
注意点	

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	
		2週	
		3週	
		4週	
		5週	
		6週	
		7週	
		8週	
	2ndQ	9週	
		10週	
		11週	
		12週	
		13週	
		14週	
		15週	
		16週	
後期	3rdQ	1週	核分裂炉の概要
		2週	原子力発電所の廃炉概要
		3週	原子力発電と核燃料サイクル
		4週	放射能と放射線
		5週	地球史と地球環境及び鉄とウラン資源の形成
		6週	海外における廃炉や環境回復
		7週	廃炉と生物学
		8週	廃炉とロボット
	4thQ	9週	廃炉と廃棄物
		10週	廃炉と除染技術、中間貯蔵施設
		11週	福島第一原子力発電所廃炉の概要
		12週	廃炉とパブリックコミュニケーション
		13週	グループワーク1
		14週	グループワーク2
		15週	グループワーク3
		16週	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。 公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	4 4	

			要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	4	
			課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	4	
			提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	4	
			経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	4	

評価割合

	試験	レポート等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0